

歯学教育学演習

Seminar of Dental Education

キーワード

- ① 医学教育
- ② 歯学教育学
- ③ カリキュラムプランニング
- ④ 教育方略
- ⑤ 教育評価

授業概要

歯学教育学演習は、歯学教育学の概論を学修するとともに、教育と学習に関する評価の方法について、演習形式の授業により重点的に学修する。教育の現場においては、教育方略の違いにより学修者の学修到達状況に対する正しい評価方法を実施することが重要である。本演習では、学修方略の違いを考慮した、適切な評価方法の選択に関する理論な基礎知識について学修するとともに、実際の学修者への評価を実践することにより、修得した知識をより一層深めるための演習を実施する。

授業科目の学修目標

医学教育に必要な学修目標の設定、方略の選定、評価法の選定方法などを修得する。また各種教育評価に関する知識に基づき、実際の教育現場で行われている色々な形式の授業に対する評価を実施することにより、学修成果に関する実践的能力の向上を図るための演習を行う。

授業計画

- (二瓶智太郎 2コマ)
- ① 本邦における高等教育の現状や推移の状態、将来の展望等に関する教育学概論について概説するとともに、重要な関連法規や政令等を理解するための学修を行う。
- (二瓶智太郎 2コマ)
- ② 本邦における歯学教育と高等教育について、欧米や先進諸国との比較により、本邦の特徴や問題点、将来への課題等について概説し、課題解決のためのプロダクト作成等を通して理解を深めるとともに、本学の教育に反映するための方略作成等に関する演習を行う。
- (二瓶智太郎 6コマ)
- ③ 歯学教育における学びの質を保証するために必要な、教育者に求められるティーチングやコーチング、チュートリアル教育等の概念について学修するとともに、学修した内容に則したロールプレイ等を通し、実践するためのスキルを身に付けるための演習を実施する。
- (二瓶智太郎 6コマ)
- ④ 多様な学修目標を達成するために、学修目標に適した教育方略の選択基準やそれぞれの教育方略の特徴について理解するとともに、それぞれの教育方略に適した評価方法の選択基準とそれぞれの評価方法の特徴について理解するための演習を行う。
- (菅谷彰 6コマ)
- ⑤ 医療系大学教育における技能評価や態度評価を公平かつ客観的に実施するために、ルーブリック評価等様々な評価法の特徴を理解するため、様々な学修モデルに対するルーブリックの作成などを通して、ルーブリック作成に必要なとされる基本的概念や知識について理解するための演習を行う。
- (二瓶智太郎 6コマ)
- ⑥ 学修した各種教育評価に関する知識に基づき、実際の教育現場で行われている色々な形式の授業に対する評価を実施することにより、学修成果に関する実践的能力の向上を図るための演習を行う。
- (二瓶智太郎 2コマ)
- ⑦ 総合演習を行う。

教科書および参考書

医学教育マニュアル（1～5）、日本医学教育学会 監修、日本医学教育学会教育開発委員会 編、篠原出版新社、1984

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

新医学教育入門（大高弘高著 医学書院）を事前に目を通すこと。
エクセルを用いた統計手法を理解していること。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① 医学教育に関する法令を説明できる。
- ② 欧米との医学教育の比較について説明できる。
- ③ 教育方略について説明できる。
- ④ 教育方略を実践できる。
- ⑤ 教育評価について説明できる。
- ⑥ 教育現場で評価を応用することができる。
- ⑦ 総合演習を理解し俯瞰的に思考できる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポート フォリオ	口頭試問	その他
0%	0%	30%	60%	0%	10%	0%

評価の要点

- ・授業項目ごとに理解度を確認するためレポートと口頭試問を行う。
- ・成果発表は、本演習で身についたことについての発表・質疑応答の内容を総合的に評価する。
ディスカッション・ディベート・課題発表：各20%=60%

理想的な達成レベルの目安

70点以上の到達度が望ましい。